

報 告

第6次埼玉県地域保健医療計画に基づく
病院整備計画の進捗状況について

第6次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画の進捗状況
(未開設の病院 15病院1,376床)

保健医療圏	医療機関	所在地	承認病床数	医療機能別内訳		開設(予定)年月	開設済病床数	未開設病床数
					病床数			
南部	川口さくら病院	川口市	50	在宅医療	30	H31.4	10	20
				回復期リハ	20		0	20
	戸田中央リハビリテーション病院	戸田市	71	回復期リハ	71	H31.11	0	71
南西部	富家病院	ふじみ野市	59	在宅医療	30	H31.4	0	30
				回復期リハ	29		0	29
	さくら記念病院	富士見市	13	在宅医療	13	H31.11	0	13
	塩味病院	朝霞市	17	在宅医療	8	H33.1	0	8
回復期リハ				9	0		9	
東部	南部厚生病院	春日部市	30	緩和ケア	30	H31.7	0	30
	順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院	越谷市	200	高度専門	15	H33.7	0	15
				救急(精神身体合併症)	40		0	40
				緩和ケア	20		0	20
				神経難病	40		0	40
				膠原病専門	40		0	40
				在宅医療	45		0	45
さいたま	自治医科大学附属 さいたま医療センター	見沼区	23	救命救急	20	H31.3	20	0
				NICU	3		0	3
	西部総合病院	桜区	8	在宅医療	8	H31.6	0	8
	さいたま市立病院	緑区	40	緩和ケア	20	H32.1	0	20
				救命救急	20		0	20
	岩槻南病院	岩槻区	6	急性心筋梗塞	6	H32.5	0	6
順天堂大学医学部附属 埼玉国際先進医療センター(仮称)	緑区	800	高度専門等	800	H36.3 (第I期)	0	800	
西部	埼玉西協同病院	所沢市	49	在宅医療	49	H31.4	0	49
	狭山中央病院	狭山市	28	二次救急	28	H32.4	0	28
北部	籠原病院	熊谷市	12	在宅医療	12	H32.2	0	12

病院説明書

病院名	順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター（仮称）																														
所在地 （予定）	さいたま市緑区美園三丁目2番1～16 他																														
病床数：	<table border="1"> <tr> <td>現在（2017年）</td> <td colspan="2">一般病床</td> <td>療養病床</td> <td>合計病床数</td> </tr> <tr> <td>高度急性期病床</td> <td>急性期病床</td> <td>回復期病床</td> <td>慢性期病床</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1"> <tr> <td>2025年</td> <td colspan="2">一般病床</td> <td>合計病床数</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">800床</td> <td>800床</td> </tr> <tr> <td>高度急性期病床</td> <td>急性期病床</td> <td>回復期病床</td> <td>慢性期病床</td> </tr> <tr> <td colspan="2">800床</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					現在（2017年）	一般病床		療養病床	合計病床数	高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床		2025年	一般病床		合計病床数		800床		800床	高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床	800床			
現在（2017年）	一般病床		療養病床	合計病床数																											
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床																												
2025年	一般病床		合計病床数																												
	800床		800床																												
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床																												
800床																															
診療科目：合計28科	総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎・高血圧内科、膠原病・リウマチ内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、メンタルクリニック、脳神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、放射線科、救急科、麻酔科・ペインクリニック、リハビリテーション科、その他																														
平均在院日数：10～14日前後（目標）	病床稼働率：90%超（目標）																														
政策医療	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神 在宅医療																										
	救急	小児	周産期	災害																											
病院の特徴：	ア) 大学附属病院として高度急性期を中心として高度・先進的な医療サービスの提供を推進するとともに、地域医療機関と連携を図り地域医療の質の向上に取り組みます。 イ) 大学院を併設して国内外から研究者を迎え、先端的な臨床研究を推進し、その成果を社会に還元し、健康の増進・福祉の向上を図ります。 ウ) 最新の知見及びスキルを身に着けた医師を地域の医療機関に派遣するとともに地域医療を支える人材の育成に取り組みます。 エ) 環境に調和し、災害に強い病院作りに取り組み、街づくりに協力します。																														

特徴的な医療機能	救命救急機能 脳卒中、心疾患、外傷などの救急患者の受け入れ体制を整備し、迅速・適切に対応するため高度な救命救急機能の充実を図ります。
特徴的な医療機能	小児救急機能 小児救急拠点病院に向けて夜間救急を含む小児救急患者に適切な対応を行います。
特徴的な医療機能	周産期医療 地域周産期母子医療センターとしての認定に向けてNICUやLDRの整備に努め、周産期救急やハイリスク分娩などに適切に対応します。
特徴的な医療機能	がん対策 地域がん診療連携拠点病院の指定に向けて、外科手術、化学療法、放射線治療等がんに対する集学的治療を提供するとともに、低侵襲治療に取り組みます。チーム医療も推進し、総合病院として合併症を持ったがん患者に対する医療に適切に対応します。
特徴的な医療機能	災害拠点病院としての機能 BCPに基づき免震構造による建物を建設し、自然エネルギーを活用した水・電気等のライフラインを確保するとともに、敷地内に医療関係者の宿舎を整備して災害時における要員の確保を図り、災害拠点病院として県民の安心・安全の確保に努めます。
特徴的な医療機能	予防・健康増進機能 本学スポーツ健康科学部・スポーツロジセンター等と連携し、病気になる前の予防対策としての健康増進やロコモティブ対策に取り組みます。
主な紹介元医療機関	紹介率、逆紹介率 70%目標
主な紹介先医療機関	
当該病院の現状	
当該病院の未来像	<p>新病院は、さいたま市民を始め広く埼玉県民の期待に応えるため、最新の医療設備と医療技術による高度な医療の提供を行い、地域医療機関とも十分な連携をとるとともに、災害時の拠点施設としても十分な機能を備えた地域の基幹病院として広くさいたま市民・埼玉県民に親しまれ、信頼される病院を目指しています。</p> <p>また、埼玉県からの要請に基づき、県内医師不足地域への医師派遣などを条件として病院整備計画に応募したことから、医師派遣に協力していく所存です。</p>

<p>市民の皆さんへ メッセージ</p>	<p>順天堂は、医学部附属6病院合計で総病床数3,418床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。附属6病院は、先進医療、地域医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発展させつつ、総合力に秀でた医療機関として、全国そして国際レベルでの医療の質向上に努めています。</p> <p>こうした医療水準の高さと優れた病院経営の実績が評価され、平成27年3月に新病院の整備計画を埼玉県から認められました。</p> <p>さいたま市浦和美園の地に新病院を開設することとなれば7番目の附属病院として、更なるネットワークの強化を図りながら、地域医療機関とも連携を図るとともに、地域医療の質を向上させ、さいたま市民を始め広く埼玉県民の方々が安心して質の高い医療を受けることができる病院を目指していく所存です。</p>										
<p>その他</p>	<p>■施設計画コンセプト</p> <p>(1)「機能性・快適性」：安心、快適に医療を受けられるアメニティの高い環境づくりとスタッフが連携しやすい院内配置とすることにより、医療機能を最大限に発揮できる施設とします。</p> <p>(2)「地域貢献・街なみ配慮」：地域医療の人材育成機能の設置や周辺街なみに配慮した外観デザインなど地域の核となり親しみがもてる施設とします。</p> <p>(3)「経済性・環境配慮」：エネルギー消費を抑え、地球環境に配慮したエコ・ホスピタルを実現します。</p> <p>(4)「安全性・防災機能」：免震構造の採用や自立したライフラインの確保など、災害時においても医療が継続できる施設とします。</p> <p>■医療従事者数（予定）</p> <table border="1" data-bbox="510 1198 869 1444"> <tr> <td>医師</td> <td>220名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>830名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>150名</td> </tr> <tr> <td>事務職員</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,270名</td> </tr> </table> <p>■大学院の設置</p> <p>大学院医学研究科（さいたまキャンパス）の開設 入学定員60名（総定員240名）</p>	医師	220名	看護師	830名	その他	150名	事務職員	70名	合計	1,270名
医師	220名										
看護師	830名										
その他	150名										
事務職員	70名										
合計	1,270名										

<p>記載内容に関する 問い合わせ先</p>	<p>学校法人順天堂 総務局 企画調査室 電話番号：03-3813-3111</p>
----------------------------	--

第2回 さいたま市地域医療構想調整会議 順天堂大学に関する質疑応答

日時:平成30年12月12日(水)19:45~

■議題(1) 病院プレゼンテーションについて (回答者:学長 新井 一 氏)

Q1 計画書の中の「特徴的な医療機能」に、救命救急機能とある。さいたま市では、既に救命救急センターがさいたま赤十字病院、自治医科大学附属さいたま医療センターの2施設あり、さいたま市立病院も救命救急センターを検討している。人口130万の中で、4つ目の救命救急センターとして活動することについて、どのように考えているか。

A1 県の指導を受けながら、実状にあわせた対応を考えていきたい。

Q2 スケジュールが全く分からないので、おおまなかスケジュールを教えてください。

A2 県と市と協議をしているところであるので、明確なことは言えないが、これだけの病院なので、基本設計に1年、着工して2年程度の建設期間が必要であり、仮に来年からスタートしても3年はかかることになると思う。

Q3 基本設計はまだか。

A3 まだである。

Q4 医療従事者の採用計画において、御配慮いただきたい。

A4 主に看護師のことだと思うが、千葉の浦安と静岡の三島に、2つの看護学部があり、毎年300人を超える卒業生が出ている。看護師の供給に関しては、その卒業生でまかなっていきたい。また、一部は既存病院の中の看護師で対応できる。いずれにせよ、地元には迷惑をかけないように、対応していく。

Q5 どのような形で、医師派遣を考えているか。

A5 県と相談しなければならないが、聞くところによると、県の北部(北東部)に、特に少ないエリアがあり、新しくできる病院をハブとして、定期的にローテーションし、若いもしくは中堅の医師を派遣していきたい。ただ、現時点で具体的なことは話せない。